



平成19年度新規事業

「公募型共同研究事業」募集および採択結果

当センターでは、本県が進める「エネルギー研究開発拠点化計画」(研究開発機能の強化)の一環として、公募型共同研究事業を創設しました。関西・中京圏等の大学・研究機関の研究者等が、当センターに設置してある施設・設備を利用して、財団の研究者と共同で研究を推進するものです。

今年度は、25件(一般研究15件、特別推進研究10件)の応募があり、厳正な審査を行った結果、12件(一般研究7件、特別推進研究5件)を採択しました。

採択件名の概要はホームページ(TOPページのNews & Event)をご覧ください



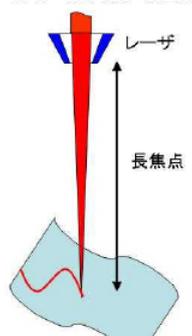
高品質固体レーザーによる遠隔切断技術の開発状況

エネ研にレーザー切断装置を設置。今月試験開始!

昨年12月に経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業に採択され、嶺南を含む県内企業を中心に産学官が連携して3カ年計画で研究を行うものです。

遠隔対象物切断用加工ヘッドの開発

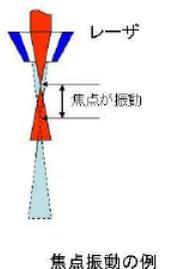
- ・遠隔物切断に対応した長焦点化技術の開発
- ・遠隔対象物の切断状況の検出方法の開発 等



レーザー
長焦点

厚板金属切断用加工ヘッドの開発

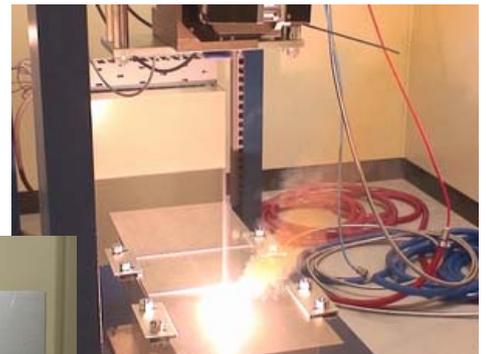
- ・レーザービームの操作(ビームの回転、焦点の振動等)機能の開発
- ・高出力化に対応できる光学系(レンズ、ミラー)の開発 等



レーザー
焦点が振動
焦点振動の例



切断された金属板



レーザー切断の様子

導入されたレーザーを用いて切断試験を行いました。今後、遠隔切断技術を開発していくため、様々な条件設定のもと試験を進めていく予定です。



平成18年度「嶺南モデル事業」の開発成果

通気性と撥水性の両立させた防護服の開発

株式会社 ミヤゲン(敦賀市)

この新型作業服は、新しく開発された環境にやさしい撥水剤を不織布に加工したもので、通気性を保ちながら軽量で作業しやすく通常の雨にも対応できるようになりました。また、強い雨や高圧水などの防水性も考慮し、部分的に防水加工を行い、実用新案を取得しました。

右の写真の防護服は、商品として既にカタログに掲載しておりますが、今後も改良を重ねながら商品性を高めていくとともに、サッカーなど観戦用のポンチョ、イベント用品、ホビー用品などの製品もそろえていく予定です。



モデル事業で試作した作業服

第2回

敦賀「原子力」夏の大学

実施結果

9月10日から14日までの5日間、エネ研、もんじゅ、原子力発電所などを会場として、第2回敦賀「原子力」夏の大学が開催されました。これは、経済産業省の原子力人材育成プログラム事業として原子力の将来を担う技術者・研究者の養成と大学間の連携促進を目的とするものです。

参加した県内、関西・中京圏の10大学の学生38名は、英語討論会やもんじゅでの実習など大学では体験できない盛りだくさんの内容に真剣に取り組み、大変意義深かったなどの意見が数多く寄せられました。

